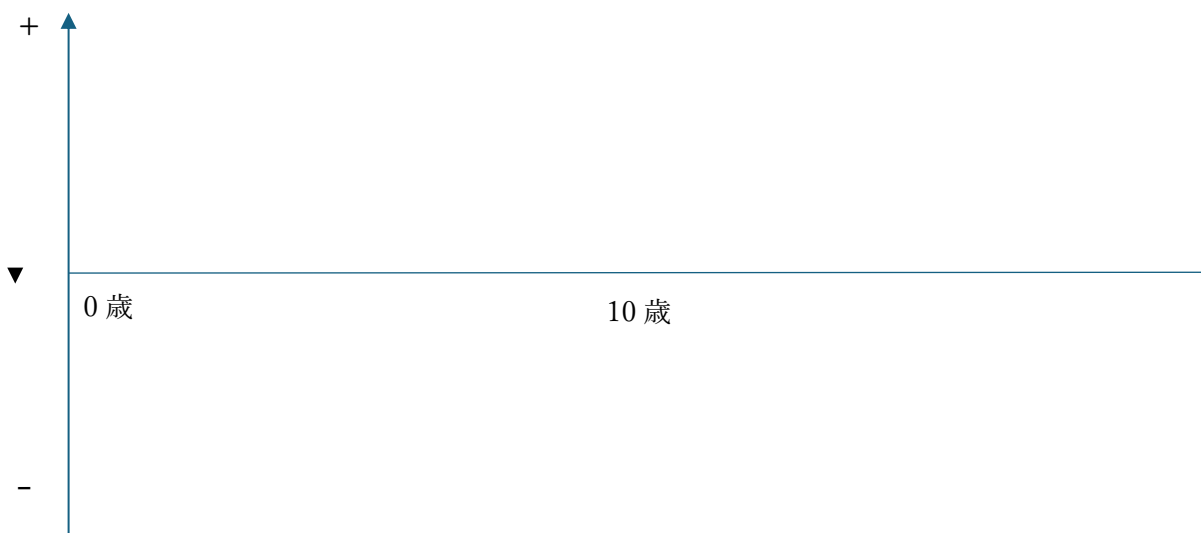


## 答えのない問いへのアプローチ 4～社会と学校の架け橋としての学び～

今回は、探究学習で核になるとされる自己探究について考えていきたいと思います。高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)解説 総合的な探究の時間編において、探究について次のような記述があります。それは、「総合的な探究の時間は、自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し、解決していく」という記述です。冒頭に記載されている「自己」とは何だろうか考えたことはありますか？普段、私たちは何気ない日常生活の中で自分という存在を表に出して生活しています。今回は抽象度が高くなりますが、自己探究について考えていきたいと思います。それではまず最初にライフ・チャートを描いてみましょう！ライフ・チャートとは、自分自身の今までの人生を振り返り、体験したことを思い出し、人生の良かったことや悲しかったことを描いたものです。これを行うと、自分自身がどのような価値観を持った人間であることを知ることができるものです。

STEP1 ライフ・チャートを描いてみよう。

今までの人生を振り返り、良かったことを縦軸の+（プラス）方向に曲線を描き、悲しかったことを縦軸の-（マイナス）方向に曲線を描いて下さい。また、横軸は皆さんの年齢です。どの年齢の時に、どのような出来事があったのかをメモしながら描いて下さい。



それでは作成したライフ・チャートを見て自分の価値観を整理してみましょう。

ライフ・チャート	どのような出来事が起きた？	その時どう思った？
どんな時に+（プラス）になった？		
どんな時に-（マイナス）になった？		

さて、ライフ・チャートを行っていただきましたが、もしかしたら、なかなか自分自身が見えてきていない人もいるかも知れません。もしかしたら、抽象度が高く、自分自身の具体の姿が見えてきていないかも知れません。そのような時はどうするのか？第3回目まで学んできた「問い」を作ること

で自分自身を深化させていきましょう。

STEP2 自己を深化させていくための問い（抽象から具体へ）

ライフ・チャートを見て、次の問いについて考えてみてください。

ライフ・チャートからの問い	自分の答え
ライフチャートが土に振れる時って、自分にとって「いつ」なんだろう？	
ライフチャートが土に振れる時って「誰」かの影響を受けたのだろうか？	
ライフチャートが土に振れる時って、「どこ」で触れたんだろうか？	
ライフチャートが土に振れる時って「何」が原因だったんだろうか？	
ライフチャートが土に振れる時って、「どのような」ことを行なったんだろうか？	

問いの力を使って自分を深める体験はどうでしたか？自分自身がどのような人間か、具体が見えてきたところで、次は具体から抽象度を少し高めていくことを考えてみましょう。自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を見つけ、解決していくために必要なものは「メタ認知能力」です。メタ認知能力を高めるためにリン・エリクソンらが唱えた概念型カリキュラムと指導（CBCI）をもとに考えていきたい。

STEP3 自分自身の価値観を考えてみよう。STEP2 で考えたことをもとにトピックを作成してみよう。トピックとは、ワードとワードを結びつけて考えた短文のことです。

STEP4 自分自身で考えたトピックを概念化（コンセプト化）してみよう。

※ 概念とは、短い語句で、抽象的で、時を超えるものです。

例) 価値・システム・積極・明朗などです。

概念を考えられるということは自分自身の強みが分かることになります。自分自身の強みが分かれば、その概念を多くのことに派生させていくことができるはずで。例えば、「価値」という概念が自分に備わっていたら、皆さん自身が行動していくことに多くの価値を与えていくことができるんだ

という自分の長所を理解したことに繋がります。それでは、自分自身の長所をもとに自分の身の回りの問題とその解決方法について考えていきたいと思えます。

STEP5 自分自身の半径 10m 以内（家族・学校・地域など）の中で起きていることで「問題」だと感じていることは何ですか？

STEP6 STEP5 の問題を解決する取り組みとして、皆さん自身が行った方が良いと思うことを考えてみて下さい。

STEP7 10m 以内の問題が解決された状態と今の問題の姿を考え、そのギャップが課題になります。そ

の課題って、皆さんが行うどのような学習と関係ありますか？

ここまで考えたら、自分自身の経験から自分の行いたいことに向けてかなり深く考えられたのではないのでしょうか？自分自身を探究するという事は、普段考えもしない領域について自分で思考することになります。言い換えると、メタ認知力が高まってくることになります。

もし、高校生である皆さんが、大学への進学を考え文系理系を選択する時は、皆さんが考えた問題の解決方法とそれと関連する学びの中で優先順位が高いベスト3を答え、自分が文系向きか、理系向きか、文理横断であるかを考えてみて下さい。それでは、いつものリフレクションを行います。

※文章でなくても構いません。文章が苦手なら、単語でも絵でも何でも構いません。

自由に思いつくまま書いてください。

1 今回の学びで皆さん自身が発見したことを考えてください。

2 今回の学びで皆さんが一番印象に残るくらい新しく発見したことは何ですか？

3 2の時、皆さんはどのようなことを思いましたか？

4 今回、学んだことを皆さんはどのように今後活かしていきたいですか？

参考文献 H・リン・エリクソン他2名 著

「思考する教室をつくる 概念型カリキュラムの理論と実践」(北大路書房)  
高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 (文部科学省)